



2020年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年12月11日

上場会社名 株式会社モルフォ 上場取引所 東
 コード番号 3653 URL <https://www.morpho-inc.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平賀 督基
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長 (氏名) 福永 寛康 TEL 03-3288-3288
 定時株主総会開催予定日 2021年1月29日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年1月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年10月期の連結業績（2019年11月1日～2020年10月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期	2,073	△20.5	△143	—	△136	—	△652	—
2019年10月期	2,608	7.9	586	△12.2	542	△18.0	339	△27.0

(注) 包括利益 2020年10月期 △650百万円 (—%) 2019年10月期 298百万円 (△35.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年10月期	△121.05	—	△12.0	△2.2	△6.9
2019年10月期	63.14	62.89	6.1	9.1	22.5

(参考) 持分法投資損益 2020年10月期 9百万円 2019年10月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年10月期	5,393	5,111	94.6	947.37
2019年10月期	6,121	5,759	94.0	1,068.08

(参考) 自己資本 2020年10月期 5,104百万円 2019年10月期 5,753百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年10月期	△62	△275	0	4,437
2019年10月期	575	△104	△6	4,777

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年10月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00	百万円 0	% —	% —
2020年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0	—	—
2021年10月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2021年10月期の連結業績予想（2020年11月1日～2021年10月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,450	18.2	△150	—	△160	—	△130	—	△24.13

(注) 当社は年次で業績管理を行っているため、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年10月期	5,390,000株	2019年10月期	5,388,200株
② 期末自己株式数	2020年10月期	1,774株	2019年10月期	1,728株
③ 期中平均株式数	2020年10月期	5,387,693株	2019年10月期	5,383,161株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年10月期の個別業績（2019年11月1日～2020年10月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期	1,708	△30.5	△115	—	△122	—	△778	—
2019年10月期	2,459	1.8	610	△11.0	565	△16.8	378	△21.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期	△144.47	—
2019年10月期	70.39	70.11

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2020年10月期	5,289	5,050	5,050	5,827	95.5	937.33	937.33	
2019年10月期	6,181	5,827	5,827	5,827	94.3	1,081.88	1,081.88	

(参考) 自己資本 2020年10月期 5,050百万円 2019年10月期 5,827百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるスマートフォン市場は、商用サービスが開始された新通信規格「5G」（第5世代移動通信システム）への期待感が高まる一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界的に経済活動が停滞し景気が急速に悪化したことから、先行きの不透明感が依然として強い状況です。

個人の消費行動においても、外出の制限や自粛などにより消費マインドの冷え込みに拍車がかかり、市場成長の鈍化は固定的なものとなりつつあります。人工知能(AI)を活用した関連産業の市場は、生産性向上や製品・サービス品質向上を目指す企業ニーズの高まりを受け継続して注目を集めてはおりますが、競争環境の激化に加え、社会環境および生活様式の変容や目まぐるしく変化する市場の動向など、予断を許さない状況です。

当社グループにおいては、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、従業員の安心と安全を守る施策として全社的な在宅勤務の推奨しております。職種を問わず従業員が在宅勤務や時差出勤を実現できるような制度の構築と速やかな実施をはじめ、全社一丸となり感染症拡大防止に取り組んでまいりました。現時点での新型コロナウイルス感染症の拡大が、当社グループの業績に与える影響は限定的なものと予想しております。

このような経営環境の中において当社は、2019年10月期から始まる3カ年の中期経営計画「Vision2021」を推進しております。2年目となる当連結会計年度は、引き続き「全てのカメラに知能を持たせる」をビジョンに掲げ、「モルフォ画像技術のデファクトスタンダード化」「成長スピード加速」を中期経営目標に設定し、「経営資源の重点配分」「グローバル化加速」「経営基盤強化」を施策の柱に据えて目標の達成に向けて取り組んでまいりました。2021年10月期より新しいビジョンとして「Rise above what we see, to realize what we feel -人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう-」掲げ、画像処理、画像認識およびその組み合わせにより、中期経営目標の実現に向け引き続き取り組んでまいります。

当連結会計年度においては、成長スピードを加速すべく取り組んでいるオープンイノベーション推進の具体化に注力いたしました。第1四半期連結会計期間に開始いたしました株式会社セキュアとのアライアンスの成果として、防犯カメラの映像からイベント広場での混雑状況を判定する映像解析ソフトウェア「Crowd Counting」を開発、東京都新宿区の新宿住友ビルのリニューアルオープンに合わせた実施を発表いたしました。

2020年6月には、当社グループの主要事業領域と位置付けているスマートフォン関連ビジネスの分野において、当社の100%子会社として台湾台北市に「Morpho Taiwan, Inc.」を設立いたしました。台湾における顧客やパートナー企業に対して当社は、これまで日本国内および近隣地域の子会社から様々なサービスの提供などを行ってまいりましたが、今後一層の関係強化や新しいビジネス機会の探索など当社グループ事業の拡大に向けた取り組みを強化するため現地法人設立の決定に至りました。今後、現地における迅速かつ柔軟なサポートを提供してまいります。

主軸事業であるスマートフォン向けソフトウェアのライセンスングにおいては事業拡大が伸び悩んでおります。中国子会社の貢献などにより一部リージョンにおいて業績は上向いたものの不足分を十分に補うだけの売上には至っていないことに加え、新型コロナウイルスの拡大に伴う消費者行動の変容によるスマートフォンメーカー業績の下振れ懸念が顕在化しつつあります。受託開発の領域においては、既存顧客からの車載機器向け開発収入減少が引き続き大きく影響しています。当社グループとしては、引き続きグローバル展開を加速しつつ、スマートフォン関連ビジネスのみに限らない収益多様化の取り組みを活発化させ、継続的な収益獲得に取り組んでまいります。

技術開発におきましては、先進の画像系AI技術により、画素レベルで意味を判別して画質を向上する『Semantic Filtering』を開発いたしました。AI（人工知能）を用いて画像の各ピクセルが何を意味するのかを判別するセマンティックセグメンテーション技術を使い、画像内の各ピクセルをカテゴリごとに分類し、それぞれのカテゴリに合わせてノイズ除去、ダイナミックレンジ補正、エッジ強調、ボケ加工などの画像処理を行います。それにより、物体ごとに残したいディテールや質感を失うことなく、よりクリアな画質の向上を実現します。

この結果、当連結会計年度における業績は、海外子会社の貢献などにより売上高は2,073,000千円（前連結会計年度比20.5%減）、人材確保や研究開発など将来の成長に向けた先行費用の増加により営業損失は143,535千円（前連結会計年度は営業利益586,737千円）、経常損失は136,625千円（前連結会計年度は経常利益542,653千円）となりました。なお、当社子会社であるTop Data Science社について、ロイヤリティ型ビジネスモデル構築の遅れなどにより子会社化当時に想定していた期間での投資回収は厳しい状況となったため、当子会社に係るのれん減損損失216,567千円を特別損失として計上したことなどから、親会社株主に帰属する当期純損失は652,159千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益339,892千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

流動資産合計は、4,876,057千円（前連結会計年度末比444,203千円減）となりました。これは主に、現金及び預金が340,628千円、売掛金が204,415千円減少したことによるものであります。

固定資産合計は、517,326千円（同283,521千円減）となりました。これは主に、投資有価証券が149,634千円増加し、のれんが259,586千円、繰延税金資産が212,185千円減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は5,393,383千円（同727,724千円減）となりました。

(負債)

流動負債合計は、251,819千円（前連結会計年度末比79,458千円減）となりました。これは主に、未払法人税等が35,139千円、賞与引当金が32,335千円減少したことによるものであります。

固定負債合計は、30,512千円（同528千円増）となりました。これは主に、資産除去債務が370千円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は282,331千円（同78,929千円減）となりました。

(純資産)

純資産合計は、5,111,052千円（前連結会計年度末比648,795千円減）となりました。これは主に資本金および資本準備金がそれぞれ735千円増加したこと、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が652,159千円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、4,437,209千円（前連結会計年度末比340,628千円減）となりました。なお、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、62,547千円（前連結会計年度は575,001千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失353,193千円、減価償却費90,845千円、減損損失216,567千円を計上し、法人税等の支払額150,361千円、賞与引当金の減少額32,335千円等となった一方で、売上債権の減少額205,861千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、275,111千円（前連結会計年度は104,140千円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出額140,628千円、有形固定資産の取得による支出額72,654千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、767千円（前連結会計年度は6,616千円の支出）となりました。これは主に、新株の発行による収入1,470千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の見通し(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

当社は、新中期経営計画「VISION 2021」を策定しており、2019年10月期から2021年10月期までの3年間を成長加速のための新戦略に取り組む期間と位置づけています。最終年度となる2021年10月期の連結業績予想につきましては、以下の通りです。

(次期の業績予想)

項目	金額(百万円)	増減額(百万円)	増減比(%)
売上高	2,450	376	18.2
営業損失	△150	△6	-
経常損失	△160	△23	-
親会社株主に帰属する当期純損失	△130	522	-

上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な環境の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当連結会計年度 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,777,838	4,437,209
売掛金	487,474	283,058
仕掛品	6,192	7,553
前払費用	39,935	62,814
その他	23,839	91,360
貸倒引当金	△15,020	△5,939
流動資産合計	5,320,260	4,876,057
固定資産		
有形固定資産		
建物	80,255	85,699
減価償却累計額	△41,333	△46,725
建物(純額)	38,921	38,973
工具、器具及び備品	272,970	333,562
減価償却累計額	△180,808	△227,186
工具、器具及び備品(純額)	92,161	106,376
リース資産	3,534	3,587
減価償却累計額	△656	△1,553
リース資産(純額)	2,878	2,033
有形固定資産合計	133,961	147,383
無形固定資産		
ソフトウェア	48,828	57,757
のれん	259,586	-
その他	4,420	1,857
無形固定資産合計	312,835	59,614
投資その他の資産		
投資有価証券	22,469	172,103
敷金及び保証金	98,042	118,605
繰延税金資産	212,185	-
破産更生債権等	67,911	67,911
その他	3,001	1,267
貸倒引当金	△49,560	△49,560
投資その他の資産合計	354,050	310,327
固定資産合計	800,847	517,326
資産合計	6,121,108	5,393,383

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当連結会計年度 (2020年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,216	40,825
未払金	69,558	42,251
未払法人税等	41,341	6,202
未払費用	21,297	22,719
前受金	120,030	115,064
預り金	6,122	19,572
未払消費税等	2,997	-
賞与引当金	32,335	-
その他	376	5,182
流動負債合計	331,277	251,819
固定負債		
資産除去債務	28,370	28,740
その他	1,613	1,771
固定負債合計	29,983	30,512
負債合計	361,260	282,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,773,418	1,774,154
資本剰余金	1,722,088	1,722,824
利益剰余金	2,292,853	1,640,694
自己株式	△10,781	△10,913
株主資本合計	5,777,580	5,126,758
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△24,390	△22,090
その他の包括利益累計額合計	△24,390	△22,090
非支配株主持分	6,657	6,383
純資産合計	5,759,847	5,111,052
負債純資産合計	6,121,108	5,393,383

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)
売上高	2,608,079	2,073,000
売上原価	550,331	636,948
売上総利益	2,057,748	1,436,052
販売費及び一般管理費	1,471,011	1,579,587
営業利益又は営業損失(△)	586,737	△143,535
営業外収益		
受取利息	244	620
持分法による投資利益	-	9,005
助成金収入	-	8,457
受取報奨金	1,886	-
その他	768	664
営業外収益合計	2,898	18,747
営業外費用		
支払利息	655	541
為替差損	46,325	11,296
その他	1	-
営業外費用合計	46,982	11,838
経常利益又は経常損失(△)	542,653	△136,625
特別損失		
減損損失	-	216,567
特別損失合計	-	216,567
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	542,653	△353,193
法人税、住民税及び事業税	211,268	85,849
法人税等調整額	△13,492	213,727
法人税等合計	197,775	299,577
当期純利益又は当期純損失(△)	344,878	△652,770
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	4,985	△611
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	339,892	△652,159

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	344,878	△652,770
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△46,145	2,637
その他の包括利益合計	△46,145	2,637
包括利益	298,732	△650,133
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	294,227	△649,859
非支配株主に係る包括利益	4,505	△273

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,771,213	1,719,883	1,952,960	△10,711	5,433,345
当期変動額					
新株の発行	2,205	2,205			4,411
自己株式の取得				△70	△70
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			339,892		339,892
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	2,205	2,205	339,892	△70	344,234
当期末残高	1,773,418	1,722,088	2,292,853	△10,781	5,777,580

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	21,275	21,275	2,152	5,456,772
当期変動額				
新株の発行				4,411
自己株式の取得				△70
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)				339,892
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△45,665	△45,665	4,505	△41,160
当期変動額合計	△45,665	△45,665	4,505	303,074
当期末残高	△24,390	△24,390	6,657	5,759,847

当連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,773,418	1,722,088	2,292,853	△10,781	5,777,580
当期変動額					
新株の発行	735	735			1,470
自己株式の取得				△132	△132
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△652,159		△652,159
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	735	735	△652,159	△132	△650,821
当期末残高	1,774,154	1,722,824	1,640,694	△10,913	5,126,758

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△24,390	△24,390	6,657	5,759,847
当期変動額				
新株の発行				1,470
自己株式の取得				△132
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△652,159
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,300	2,300	△273	2,026
当期変動額合計	2,300	2,300	△273	△648,795
当期末残高	△22,090	△22,090	6,383	5,111,052

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	542,653	△353,193
減価償却費	77,159	90,845
減損損失	-	216,567
のれん償却額	68,337	46,994
持分法による投資損益(△は益)	-	△9,005
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,925	△32,335
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12,570	△9,118
受取利息	△244	△620
支払利息	655	541
助成金収入	-	△8,457
為替差損益(△は益)	2,840	2,430
売上債権の増減額(△は増加)	118,060	205,861
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,326	△1,876
仕入債務の増減額(△は減少)	10,995	3,337
未払金の増減額(△は減少)	△8,325	△25,053
前受金の増減額(△は減少)	27,385	△649
その他	△20,406	△49,013
小計	844,280	77,253
利息及び配当金の受取額	244	620
利息の支払額	△648	△541
助成金の受取額	-	8,457
法人税等の支払額	△268,875	△150,361
法人税等の還付額	-	2,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	575,001	△62,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△61,148	△72,654
無形固定資産の取得による支出	△40,083	△41,668
投資有価証券の取得による支出	-	△140,628
敷金及び保証金の差入による支出	△6,683	△23,495
敷金及び保証金の回収による収入	5,264	3,327
その他	△1,489	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,140	△275,111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△8,980	-
株式の発行による収入	4,411	1,470
自己株式の取得による支出	△70	△132
リース債務の返済による支出	△1,978	△570
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,616	767
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,951	△3,737
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	453,292	△340,628
現金及び現金同等物の期首残高	4,324,545	4,777,838
現金及び現金同等物の期末残高	4,777,838	4,437,209

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)
1株当たり純資産額	1,068.08円	947.37円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	63.14円	△121.05円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	62.89円	—

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	当連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(千円)	339,892	△652,159
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親 会社株主に帰属する当期純損失(千円)	339,892	△652,159
期中平均株式数(株)	5,383,161	5,387,693
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	21,745	—
(うち新株予約権(株))	(21,745)	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当 期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。